



# 南中学校だより

令和8年4月8日(水)  
東松山市立南中学校長  
栗田 秀人

【学校教育目標】心を磨き 本気で学び たくましく

第 1 号

【目指す学校像】生徒一人一人が生き生きと輝き存分に躍動するとともに、家庭・地域と信頼の絆で結ばれる学校

令和8年度

始業式 式辞

## Trial and Error 何度でも挑戦を

(略) さて、1時間ほど前に新担任、新クラスメイトの発表がありました。昇降口での発表の様子を見ていましたが、例年通り、悲喜こもごも、一喜一憂する様子が見られました。担任の先生が誰になるのか、誰と同じクラスになるのか、少なくともここ数日の間は様々に思いを巡らしていたことと思います。

少しだけ私の子供の話をします。3人子供がいます。一番下の娘は土曜日が大学の入学式でした。3月末、入学式を前に進学先に誰も知っている人がいないことを大変不安がっていました。その様子を見ていた大学3年生になる次男坊が自身の経験をから妹にアドバイスしていました。「自分から友達を作りに行きなさい。とりあえず、近くに座った人に声をかけてみよう。」というものでした。入学式で早速その助言を忠実に実行した娘は、帰宅後5人の新たなクラスメイトとLINEを交換して帰ってきました。やや不安が薄れたようでした。

新担任のもと新たなクラスで不安を感じているとすれば、それは当たり前のことです。多くの生徒が不安を感じているこの「ピンチ」を「チャンス」と考え、新たな交友関係を作っていくつもりで前向きに取り組んでもらいたいと考えます。人間関係は変わるもので、誰とでも気が合って上手く付き合える、そんなことはありません。しかし、そんな中であるからこそ、よりよい付き合い方、人間関係の作り方を学ぶよい機会ととらえてください。誰もがこのことを意識するときです。十分な気配りを持って人と接することができるようにしましょう。この時期を、大人へのステップととらえて、前向きに過ごしてください。

そのことを踏まえたうえで年度当初に2つお話しをします。

1つは何度も君たちに話してきたことです。命を大切にしてください。人の心を傷つけるようなことはしないでください。ハートの書かれた紙を丸めて広げた時に完全に元へは戻らないことを示しました。先ほどクラス替えを前向きにとらえてほしい旨を話しましたが、その際の自身の発言や行動をよく考えてしてください。昨年の修了式でこのことは南中生全員がマストである、とお話をしました。心を傷つけるようなことをしない、必ず心に留めておきましょう。人の思いを大切にできれば、あなたを理解してくれる人も増えていくでしょう。

2つ目のお話は、次の言葉についてです。「トライル アンド エラー 僅かな成功に喜びを見出し、その過程を楽しもう。」これは、冬季オリンピックに5回出場したスキージャンプの渡部暁斗(わたべあきと)選手の言葉です。先のトリノオリンピックをもって引退しました。「トライル アンド エラー」とは、日本語に直すならば、「試行錯誤」。「失敗することを想定したうえで何度も試行し、その結果をもとに修正・改善を重ねて最適な解決策を見つけていく」という意味です。渡部選手は、長い選手生活の中で、世界の一流で活動する超一流の選手でありながら、常にトライル アンド エラーを繰り返していたそうです。そんな中でも、上手くいったと思えるのはほんのわずかな、しかも一瞬の出来事。それでも、僅かな喜びのために試行錯誤を繰り返す。渡部選手は、エラーの後に、新たなアプローチの方法を模索して考える過程がとても楽しかった、と語っていました。さすが、世界の頂点を極めた選手の考え方です。

このことは、あなた方にも当てはめて考えることができます。今、抱いている新たな環境での不安も、その不安を払しょくするには、何かしら取り組んでみるのが大切です。何かに取り組むことが、即、良い結果につながるとは言えません。結果が出なければ、取組の内容を振り返り、考え直して、より良い取組の方法を調べて、考えて、また挑戦してみる。難しいけれども、その振り返りや、考えること、調べ直すことの繰り返しが、良い結果を得るための一番の近道であり、あなた自身を成長させることとなります。応援してくれる仲間も増えていきます。保護者の皆さんも、そして地域の方々も、トライル アンド エラーを繰り返す皆さんを、サポートしてくれることでしょう。南中の先生方は、そのことを約束します。

以上、2つのお話以外にも、本をたくさん読んでほしいということ、昨年の修了式でお話ししたとおり、自分がプライドを持って取り組めることを探して挑戦してほしいということ、この2つも心に留めておいてください。

サッカーの日本代表、「SAMURAI BLUE」は3月31日、ワールドカップ優勝候補のイングランド代表に史上初めて勝利しました。森保一監督の地道な強化計画の下、ここ最近、世界の強豪チームからの歴史的な勝利が続いています。6月に開催されるワールドカップ本番が楽しみになってきました。ウクライナや中東情勢など、先行き不透明な出来事が沢山あり不安な要素こそありますが、何かが良い方向に変わる予感がします。良い方向に変わってほしいと思います。南中生にとっても、何かが変わる、何かを変える飛躍の年となることを期待して、南中の良い方向への変化を期待してやまない校長からの式辞といたします。

令和8年4月8日

東松山市立南中学校長 栗田 秀人

## 保護者・地域の皆様へ

お子様のご入学、並びにご進級、おめでとうございます。令和 8 年度の南中学校は 231 名の新入生を加え、全校生徒 664 人、学級数が昨年よりも 1 学級増えて 23 学級でのスタートです。中学校としては、東松山・比企地域で最も大きな学校です。今年は昨年度同様『学校教育目標』の「心を磨き 本気で学び たくましく」、また『目指す学校像』の「生徒一人一人が生き生きと輝き存分に躍動するとともに、家庭・地域と信頼の絆で結ばれる学校」とし、教職員一丸となって、生徒一人一人の「よさ」を認め、鍛え、育むとともに、命を、心を大切にできる生徒を育ててまいります。どうか皆様には、お子様を見守り、寄り添い、見届けていただくとともに、本校の教育活動にご支援とご協力を賜り、共に手を携えて「よさ」を伸ばすことでお子様の健やかな成長のためにお取り組みいただきますようお願い申し上げます。

東松山市立南中学校 令和 8 年度 教職員一同

### 令和 7 年度末で南中を転退職した教職員

### 令和 8 年度 東松山市立南中学校教職員

#### 退職・任期満了

#### 転出

### 令和 8 年度当初 南中に新転入した教職員

#### 転入

#### 新採用